



看護職就職活動のあれこれ② 気になる職場の情報収集の手段



学校の就職課やナースセンター、ハローワーク、求人情報サイトなどで興味のある施設を見つけたら、応募を決める前にどんな職場なのかを自分で確かめることが、効率のよい就職活動の第一歩。限られた時間を有効に使い、志望する施設を選びましょう。

情報収集の手段

STEP1：施設全体像をつかもう

まずはその施設のホームページにアクセスしてみましょう。その施設に関する多くの情報を読み取ることができ、パンフレットなどの資料請求も可能です。また SNS での情報発信に力を入れている施設もあります。施設で取り組んでいることや地域への関わり方などをキャッチでき、フレッシュでタイムリーな施設の姿を感じ取ることかできるでしょう。

STEP2：自分なりの視点でより深く詳細に聞いてみよう

資料だけではわからない職場の雰囲気や看護職の様子を実感できるのが、施設見学やインターンシップです。実際に働く先輩から話を聞いたり、自分の目で見たりして得られる生の情報は、職場を選ぶ上でとても重要です。志望する施設で開催される時には、しっかり活用しましょう。

施設見学

多くの施設では就職希望者に対して見学の機会を設けています。施設見学では、さまざまな疑問や不安について、施設の採用担当者だけでなく、そこで働く看護職の先輩たちからも話を聞くことができます。



インターンシップ

現場で働く職員と行動を共にして看護業務の一部を体験したり、現場での実際の業務の流れを体感する職場体験のことを「インターンシップ」と呼びます。インターンシップは働く自分をよりリアルにイメージでき、新たな気づきの場になるでしょう。

OB・OG訪問

働いている先輩から職場や仕事について聞いたり、業界研究や選考対策などの就活相談をしたり、希望する職場などをより深く知ることができます。実際の仕事内容や働き方、職場の雰囲気だけでなく、入職を決めた理由や選んでよかった理由、今までにやりがいを感じたことなどを聞いてみましょう。就活スケジュールの立て方や実際の選考内容なども参考になります。

現場で見て、聞いて、感じてもらいたいこと



【職場の雰囲気】

職場の第一印象、看護職と医師、その他の医療職の間にある雰囲気を感じましょう。患者さんに接する態度、看護職間のコミュニケーションの様子などを通して、その施設が大切にしている理念を感じとりましょう。



【看護記録や情報管理】

看護記録や日誌などが電子カルテを導入しているのかどうかを確認しましょう。コンピュータの使用状況や院内情報システムも簡単に説明してもらいましょう。



【夜勤時の休憩・仮眠の取得】

夜勤の回数や拘束時間だけでなく、夜勤中の休憩時間や仮眠時間が設定されているか、仮眠室などの環境が整っているかを確認しましょう。



【働く時間の管理】

出出勤や休日、勤務した時間の管理に、タイムカードや他のシステムが導入されているのかの確認や、時間外勤務についても尋ねてみましょう。



【教育・研修制度】

ホームページや施設案内などで入手しきれない入職後の研修制度について情報収集できる機会です。



【福利厚生設備】

職員宿舎、職員駐車場、保育施設など、生活を充実させてくれる設備を見せてもらおうと、安心できます。



【自宅から施設までの距離】

通勤時間の長さは夜勤後の帰宅手段や毎日の健康管理に影響します。車の場合は交通渋滞、電車の場合は乗り換えなども考慮し、所要時間を計ってみましょう。



看護職就職活動のあれこれ③ 職場の個性へのアプローチポイント



実際に情報収集していく時に、注目してほしいポイントを紹介します。職場の個性と“あなたが求めるもの”が近いかどうか、確認してみましょう。

職場の個性を見るポイント

■ 特徴 **【概要】** 立地、沿革、病床数や付属施設など、その施設の規模、それぞれに特色のある取り組み、地域連携、救急医療体制、患者さんに対する権利の尊重、信頼できる安全な医療の提供が行われているかなどを確認しましょう。

【理念】 各施設にはそれぞれに掲げる理念があります。その職場の医療、看護などに対する根本的な考え方を示すものなので、しっかりと確認しましょう。

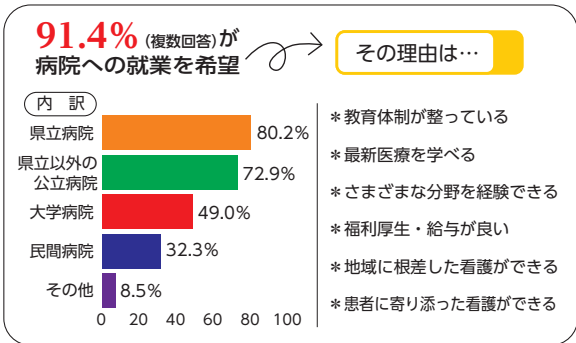
■ 看護部の特徴 看護部の理念、方針、目標、組織、教育体制、看護提供体制など、看護職としての仕事に誇りをもち、責任を果たせる環境にあるかなどを確認しましょう。

【看護部の教育方針】 看護職は一生の仕事。プロフェッショナルとして長く働き続けるためには、新人や中途採用者への支援体制や継続教育等の教育体制も重要です。

【働く環境・働き方】 自分がその施設で働くときに、勤務体制や休みの取り方など、どのような環境で働けるのか、どのような働き方ができるのかという視点で見てください。

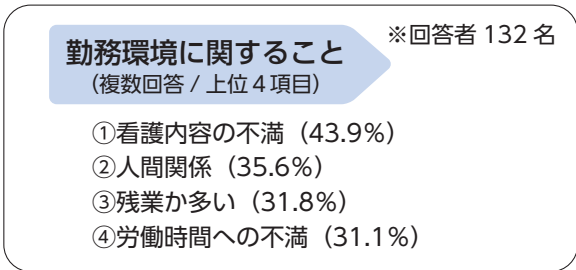
仕事選びで大切なこと ～アンケート結果から～

看護学生が 就業先に求めていること*1



看護職としての土台づくりのために、看護技術や知識を学べることを、看護学生が就業先に求めていると読み取れます。また、自身の学びの環境の安定にもつながる給与や福利厚生も職場選びのポイントに挙げています。さらに、看護学生ならではの「こういう看護がしたい」という思いが叶えられるかどうか、就業先を絞っていく要素となっています。こうしたことから、看護学生は、就業先の規模や雇用条件も堅実に視野に入れて、スキルアップをしながら“自身が理想とする看護の実現”を目指していると考えられるでしょう。

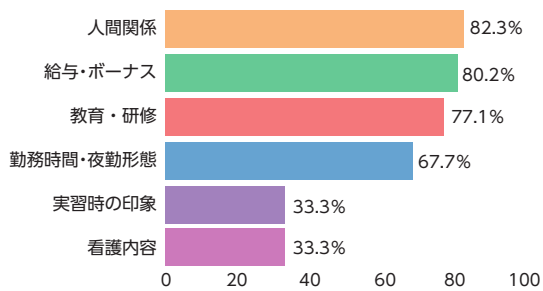
看護職が 職場を離れてしまった理由*2



晴れて看護職として就業しても、実際にお仕事をしてみるとさまざまな理由で現場を離れていく看護職もいます。離職理由としては、定年退職や体調不良などのご自身のやむを得ない理由だけでなく、勤務環境が合わないことも多く見られます。“自身が理想とする看護”があったとしても、就業先の考え方や働き方(雇用形態・勤務形態など)の働く環境が合わないと、理想を実現することも看護職として働き続けることも難しい場合があります。

参考

看護学生が 就業先を選ぶポイント*1



看護職としての就業を目指す皆さんへ

自分らしく思いっきり看護職の資格を活かすために、自分の軸を見つけるような「自己分析」と、自分の視点で追及する「情報収集」により、自身の希望に近い就業先を見極めましょう！

*1) 山形県看護協会 山形県ナースセンター 令和5年度「看護師等職場説明会」学生等参加者アンケートより
*2) 山形県看護協会 山形県ナースセンター 令和4年度「看護職員離職者実態調査」抜粋